事例No.	1865
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道栗山町

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・EBPM ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	経営戦略

事例内容・タイトル

下水道事業経営戦略の改定

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【北海道栗山町】
下水道事業経営戦略の改定

経営戦略 **下水道事業**

北海道夕張郡栗山町上下水道課

● 取組の概要

中長期的な視点から経営基盤強化等を実現するため、経営戦略の改定を行った。

◆総事業費　委託料　5,060千円

◆背景

- 平成28年度に策定した経営戦略は、計画の前提となる経営・財政の条件変更が必要な状況にあったこと、平成29年度に事業を開始した個別排水処理施設事業が含まれていなかったこと等により、見直しを図る必要があった。
- また、平成22年度に策定した下水道中期ビジョンが改定時期を迎えていた。
- これらの課題を解決するため、経営戦略を改定することとした。

◆具体的内容

- 経営戦略策定・改定マニュアル等に基づき、経営状況の現状分析、基本方針の検討、具体的取組の整理、予定業務量の整理、使用料の適正水準の検討、投資・財政計画の策定、進捗管理の方針の検討を行った。
- 使用料の適正水準の検討については、2パターンでの検証を実施し、現状把握に努めた。また、検証結果を踏まえ、将来の不確実性を考慮し、複数パターンによる財政シミュレーションを実施した。

◆効果

- 財政シミュレーション等の活用により、上位計画策定や予算編成、財政推計等における事務負担が軽減された。
- 経営戦略と下水道中期ビジョンを一本化することにより、計画策定費用が削減された（約5,000千円）。

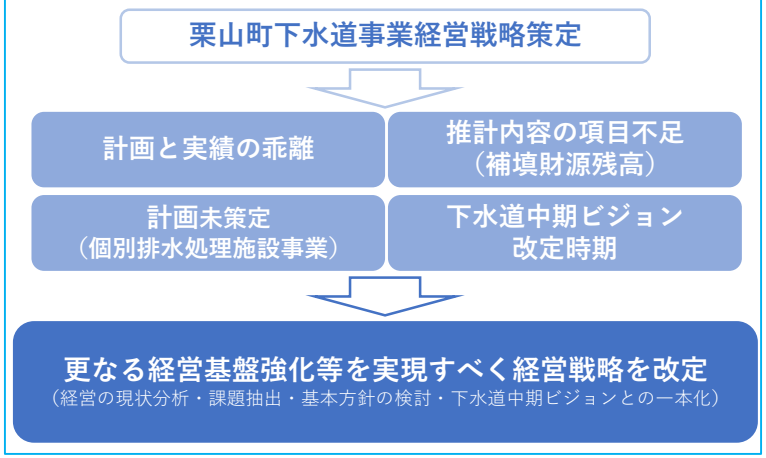
● 取組のポイント

- 委託業者と完成イメージの共有を図るため、検討の初期段階から内部協議を複数回実施した上で素案（概要）を策定したことにより、改定支援委託業務を円滑に進めることができた。
- 経営戦略の改定経過において、担当課全体として取組を進め、理事者や財政部局、町議会への説明を実施したことにより、経営状況や経営方針等を共有することができた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　11,157人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　203.93km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　9,296人（令和3年度決算）

経営戦略の改定イメージ



● 取組のスケジュール

- 令和元年10月　検討を開始し、令和2年4月に改定支援委託業務の契約を締結。
- 令和3年3月　　経営戦略の改定。

● 今後の展望

- 経営戦略の実効性を確保するため、モニタリングを毎年度適切に実施する。
- 今後、経営戦略に基づく取組を行うことにより、将来にわたって安定的なサービスの提供に努める。